

運転日報作成システム ～BusLog～ 概要

2017/7/20

- 背景**
- ・ 運行中、運転日報・乗降記録を**手書き**し、それを元に**手入力**でデータ化する必要がある。
- 本運行になれば、約50路線分の事務作業が発生する。
- ・ 路線バス運行は単調なため、故意でなくても**バス停飛ばし**が起こりえる。
- ねらい**
- ・ タブレット端末（運転日報作成システム）を携行、発着時操作することで**手書き作業を無くす**と同時に**ルート違いやバス停違いを防止**する。
 - ・ 入力ミスがなくなり、精度の高いOD分析ができる。
 - ・ 運行管理・勤務管理・帳票作成を一元管理。
- システム**
- ・ 運行ルートに基づいてバス停名を表示。発着時の操作で**発着時間・乗降人数の記録、バス停案内などアナウンス**を流す。
 - ・ 運行中は通信をせず、入庫後データをサーバーに送信する。
 - ・ 今後、名城大学と共同開発を予定。
- 予算**
- ・ システムライセンス料 1路線月9,000円（税別）
 - ・ タブレット端末 1台50,000円（税別）
- 解説動画**
- <https://youtu.be/8Pf3Dpzfw0Q>

